

日本オペレーションズ・リサーチ学会

第5回・第6回研究発表会記事

第5回研究発表会

第5回研究発表会は1959年度総会に引続いて昭和34年4月25日(土)午後から、日本国有鉄道本社8階映写室で開かれ26日(日)一ぱい行われた。袖山副会長、木暮理事の特別講演(第3巻第2号掲載)のほか発表件数は別記のとおり23件にのぼり、200名以上の聴衆から盛んな質問が出るなど熱心且つ有意義に行われた。また26日17時半から19時半まで東京駅ステーションホテルで大西定彦、厚母庸二旧新両会長はじめ42名の会員が参加して懇親会が開かれた。翌27日は9時30分より16時まで、日本電子工業振興協会計算センター(NEAC 2201)と日本IBM株式会社計算センター(IBM 650)の見学には約60名参加した。

第5回研究発表会プログラム

4月25日(土) 13時~17時

挨拶 国鉄技師長 島 秀雄

特別講演: アメリカにおける企業経営のあり方

東洋レーヨン社長 袖山喜久雄

(1) 保全材料の在庫管理 電々公社 大前義次

(2) 季節変動のある製品の在庫管理

小西六 山田隆一

(3) 計算機設計のOR 日本電気 水野幸男

(4) 分類系の一モデル 東京工大 渡辺 浩

(5) 倉庫容量の決定について

東京工大 国沢清典

(6) 標本調査と情報理論 東京工大 国沢清典

電通 平田 実

4月26日(日) 9時~12時

(7) Prediction Theory and Dynamic Programming(II) 都立短大 小田中敏男

(8) DPによる伐期令の決め方

林業試験場 有水 壘

林業試験場 安藤 貴

(9) 在庫管理のDynamic Programming

電気通信大 坂口 実

(10) 15トン操重車による最適事故復旧計画のたて方

国鉄 阿部政男

国鉄 大平 坦

(11) 動力車の予防修繕回帰の最適化について

国鉄 家長吉千代

国鉄 渡部 典

(12) 貨車集結の方法 国鉄 金松正世

(13) モンテカルロ法におけるウェイトについて

原子力研 中山 隆

(14) FACOM 128による有界変数の問題の解法について

阪大 万代三郎

有隣電気 堀井良夫

4月26日(日) 13時~17時

特別講演 欧米におけるIE, QC, OR

東京工大 木暮正夫

(15) 予測に対する一方法 旭電化 松井進作

(16) 論理代数の一つの試み

日新製鋼 山本 晶

(17) 天気予報の信頼性と利用策

気象研 鈴木栄一

(18) 予報網の密度について 気象研 高橋浩一郎

(19) 販売予測の事例研究

大阪府立大 市橋英世

(20) 貨車輸送の一問題について

東京工大 森村英典

(21) Queueingの一問題 慶大 河村知男

都立大 本間鶴千代

(22) 部分集結の数学模型 東京工大 河田龍夫

東京工大 森村英典

第6回研究発表会

第6回研究発表会は昭和34年11月14日(土)~15日(日)の両日、大阪大学工学部で開かれた。

水谷関西支部長の特別講演のほか発表件数は別記のとおり20件あり、聴衆も200名をこえる盛会であった。研究発表では特に電子計算機の話が多かったことが注目される。懇親会は14日17時から19時半まで同大学で小野木副会長、水谷支部長はじめ47名が参加して、日頃東京・大阪と分れている地域的距離を消失させ愉快な一夜を過した。今回の準備一切を担当された関西支部の方々には心から御礼申上げる。

第6回研究発表会プログラム

11月14日(土) 9時30分~12時

開会の辞

阪大 宮脇一男

(1) α 在庫政策

阪大 福揚 庸

- (2) 定員に関する一考察 小西六 山田隆一 国鉄 鈴木誠道
- (3) 故障理論の一問題 国鉄 三觜 武
- (4) Prediction Theory and Dynamic Programming(Ⅲ) 都立短大 小田中敏男
会長挨拶 豊羽鉱山会長 厚 母庸二
11月14日(土) 13時~17時
- (5) 時系列の予測(Wiener の理論に関する二, 三の覚書Ⅳ) 東大 近藤次郎
- (6) ある線型計画法の一解法と適用 横浜市大 米田桂三
- (7) 金属市況の変動に伴う生産計画について 日鉱 奥村誠次郎
三菱金鉱 菅波三郎
- (8) 非線型交通流の特性 京大 佐々木 綱
- (9) 相隣る信号灯の点滅位相の調節 防衛大 岸 尚
- (10) 信号保安装置の確率論的解釈 国鉄 石合光雄
11月15日(日) 9時30分~12時
- (11) ピリオドグラム計算機 阪大 宮脇一男
阪大 前川 禎夫
- (12) Bendix G-15 Dに対する LP のプログラム
- (13) ダイナミック・プログラミングとある制御過程について 都立短大 小田中敏男
- (14) 複素数の平方根をニュートンの近似方法で求める際に根に収束しない場合の注意 早大 中島勝也
- (15) 装置の設計における OR 日本電気 関本忠弘
11月15日(日) 13時~16時
特別講演: OR における予測の要素 神戸大 水谷一雄
- (16) Linear Programming 問題への一つの逐次近似解法(Network Linear Programming) 電気試験所 深尾 毅
- (17) モンテカルロ法の応用例 東芝 原野秀永
東芝 石村 透
- (18) 林業におけるダイナミック・プログラミング(4) 林業試験場 有水 豊
林野庁 秋山智英
東京営林局 大原克準
- (19) Game の実験 電気通信大 坂口 実
閉会の辞 田辺製薬 朝尾 正

ニ ュ ー ス

国際統計協会(International Statistical Institute)第32回総会が来る5月30日(月)から6月9日(木)まで、東京において皇太子殿下統裁の下に開催される予定である。各国より有力な統計関係の学者が来日されるので、本学会としてもこの機会に外人学者との交流をはかりたく、現在実行委員会(委員長山口英治氏、副委員長多田和夫氏)を設立して準備をすすめている。特別な企画としてはいづれも予定であるが、

1. 記念特別講演会

日本数学会および統計科学研究会と共催、朝日新聞社の協力を得て5月28日(土)午後朝日講堂において開催する。講師としては R. A. Fisher (英), P. C. Mahalanobis (印), A. Kolmogorov (ソ)。で一般公開。

2. セミナーとシンポジウム

6月13日(月), 14日(火)東京に於て開催。日本人リーダーとして、河田龍夫, 増山元三郎, 森口繁一, 宮沢光一の4氏に依頼した。招待外人学者は, A. Rényi, Lindley, Donsker, Wolfowitz, Hamaker, Sichel, C. R. Rao, Durbin, Vessereau, Wold, Houthaker, Haavelmo の中から数名選定する。出席会員はアンケートにより質問を求め面白いテーマをもっている会員を学会代表として参加して貰う。話はアンケートによる質問を中心としその内容は学会誌に発表する。

3. 記念特集号

経営科学誌に来日される主な外人から“日本の印象”, “日本の OR ワーカーに寄せる”等随想の執筆を依頼し原文のまま掲載する。